

3月の予定

野毛山幼稚園

主 題	喜びにみちて
ねがい	・自信をもって喜んで毎日の生活を過ごしながら、新しい生活への期待を持つ。 ・神さまの守りの中で大きくなったことを喜び、感謝する

予 定

日	曜日	予 定	備 考
4	火	ひなまつり	
5	水	3月誕生会	
7	金	わくわく音楽会	別紙の通り
11	火	サンドイッチパーティー	
17	月	感謝礼拝・お別れ会 卒園祝賀パーティー	
18	火	第63回 卒園式	年中・年少組休園
19	水	平成25年度 修了式	

3日(月)はランチがありません。おにぎり・水筒持参 2時降園となります。

●歯みがき指導

11	火	年中チューリップ組	
----	---	-----------	--

●こひつじの会 14日(金)まで



聖 句 希望はわたしたちを欺くことはありません。

ローマの信徒への手紙 5章 5節

使徒パウロは、イエスキリストのことを伝えるためにたくさんのつらいことを経験しました。石を投げられたり、鞭で打たれたり、また、牢屋に入れられたり、多くの苦難や迫害を受けました。時には、誤解や中傷にさらされ、食べ物がなくてひどい思いをしたこともありました。

けれども、パウロは神さまの愛が確かなことを信じて、未来への希望があったので、辛いことも喜ぶことができました。苦難をも喜びにし、誇りとしたのです。そして、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望へとつながると言っています。

さまざまな苦難を受けたパウロですが、「神さまはこれからもさまざまなことから救ってくださるにちがいない、私は神さまに希望をかけている」と告白しています。

宗教改革者マルチン・ルターは、「たとえ明日が世の終わりであろうとも、今日、私はリンゴの木を植える」と語りました。

何があっても、いつも通り行い、神さまを信じ、明日を信じて、希望を持っていくとき、わたしたちは失望に終わることはありません。

いつでも、どこにいても、神さまは私たちと一緒に…インマヌエルを忘れず、希望をもって歩みましょう。

年 長

すみれ組

- ・一人ひとりが自分なりの目標を持ち、それに向かって最後までやりとげようとする。
- ・友だち同士、お互いの考えを出し合い、受け入れてあそびを深めていく。
- ・幼稚園生活を思い起こし、卒園に向けての準備をする。
- ・友だちのがんばりや、良いところを認めあったり、友だちの成功を喜ぶ。
- ・お世話になった人たちへありがとうの気持ちを持つ。
- ・小学校に対する期待を持ち、残りの幼稚園生活を見通しをもって進める。
- ・神さまとたくさんの人に守られて大きくなったことを感謝する。
- ・さまざまなことに目を向けて、気づく心を持つ。
- ・春が近いことを知る。



年 中

チューリップ組

- ・自分の考えたこと、感じたことを身体やことばで表現する。
- ・思いきり身体を動かして遊ぶ。
- ・みんなで一緒に活動することの楽しさを知る。
- ・年長組になることに期待を持ち準備していく。
- ・たくさんの友だちと接し、交友関係を広げていく。
- ・木の芽などの変化を見ながら、春が近いのを知る。
- ・年長さんへお祝いの気持ちをこめてプレゼントを作ったりする。



年 少

ひまわり組

- ・思いきり身体を動かして遊ぶ。
- ・友だちとごっこあそびを楽しむ。
- ・もうすぐ、年中組になることがわかる。
- ・生活の仕方を見直す。
- ・楽しく歌ったり、聴いたりする。
- ・暖かくなってきていることを感じ、木の芽などの変化を見ながら、春が近いのを知る。

